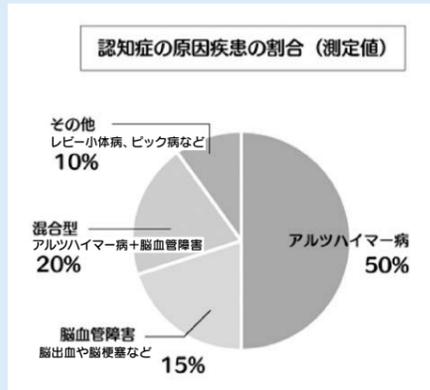


社協の介護講座 第1回

認知症の知識とその対応について

認知症とは

認知症とは何でしょうか。認識したり、記憶したり、考えたり、判断する力が障害を受け、社会生活に支障をきたすようになった状態をいいます。それを引き起こす原因には、さまざまなものがあります。



アルツハイマー病が代表的なものです。脳出血や脳梗塞などの脳血管障害でも起こりますし、そ

のほか脳を圧迫する疾患、低酸素症やアルコール中毒から認知症を引き起こすこともあります。原因によって正しい治療で治るものもあるのです。

発症したアルツハイマー病のことを指す言葉で、現在全国に約十万人いるといわれています。四十年代、五十代の働き盛りで起こることもあり、老年性のものより進行が早く、症状も重くなる傾向があります。

□天候に合わせて衣服を選ぶことができなくなるなど、日常生活での失敗が目立つようになる
□慣れない場所に行くとき迷うようになる
□服薬管理ができない
□混乱がひどくなり、妄想や徘徊など行動障害が盛んに起きる

現在、国内の認知症患者は約一七〇万人に上るといわれており、六十五歳以上の男性の五十五%、女性の六十六%が推測されています。また、認知症患者は、高齢化がさらに進む二〇三五年には、現在の倍以上の三七六万人になるだろうと予想されています。

初期 2〜3年 □鍋を焦がしたり、置き忘れが増えたり、記憶障害があらわれ始める
□年月日が不確かになる
□金銭管理が苦手になる
□感情的に不安定になる
□意欲が低下する

後期 2〜3年 □運動機能がだんだん低下する
□近所でも迷うようになる
□家族の顔がわからないことがある
□言葉によるコミュニケーションが難しくなる
□トイレの場所がわからなくなり、失禁が多くなる
□入浴や着脱衣がひとりではできなくなる
□寝たきりに近い状態になる

認知症の人は、どれくらいいるのでしょうか？

中期 4〜5年 □記憶障害がさらに進み、直前のことも覚えられなくなる

こんなときには、どうしたら…

徘徊



家族が目を離すと、フラフラと外に出て行ってしまいます。

家族がしてしまいがちな対応

「どこに行くんですか。また迷子になりますよ」「お願いだから、出歩かないでください」と、無理に家の中に連れ戻す。

認知症の人の気持ち

「ここは、どこかわからない」「ときには、外に出たい」「夕方になったから買い物に行かなければならない」

理由

見当識障害が進んで、家にも自分がどこにいるかわからなくなったのかもしれない。過去の生活習慣に従っている場合もあります。

どうしたらいい？

いっしょについて歩く

原因や目的がわからない場合は、散歩のつもりでいっしょについて行きます。「ついてくるな」といやがるときは少し離れて歩き、本人が疲れたり、心細くなったときを見計らって偶然出会ったようにふるまい、「帰りましょうか」と声をかけます。

目的や原因がわかっているときは、気持ちをそらしたり、気が落ち着くように対応します。

また、徘徊予防のためには1日の生活パターンをつくること。本人の役割分担も決めて、毎日いっしょに散歩する時間を設けましょう。ときには、家族と外出する機会をつくることも効果的です。

監修：国立長寿医療センター包括診療部長 遠藤 英俊

認知症ドットコム

検索

「ものを盗まれた」と騒ぐ

財布や通帳が見つからないと、「盗まれた」と大騒ぎします。うたぐるような目で見られるので、腹が立ってしかたありません。

家族がしてしまいがちな対応

「また、どこかにしまい忘れをしたんでしょ。人を疑うのはよくないですよ」としかる。

認知症の人の気持ち

「私がしまい忘れたり、置き忘れるはずがない。だれかに盗まれたに決まっている」「おかしいなあ。いつもここに入れているのに。きっとだれかに盗まれたんだ」

理由

認知症の早期には、記憶障害のために頻繁に置き忘れやしまい忘れをします。そのため、ものがないと「盗まれた」と思うのです。この場合、身近な人が疑われるのはしかたないことかもしれません。

どうしたらいい？

いっしょに探す

「盗まれたかどうか、もう1回、探してみよう」と言って、いっしょに探します。探した人が見つけると、「盗んでこっそり隠していた」と疑われるので、必ず本人に発見させましょう。「盗まれた」と騒いだ手前、本人は照れくさいかもしれません。「よかったですね」と言って、責めないこと。「今度は、ちゃんと覚えておいてくださいよ」と怒ると、感情的なしこりになります。

アドバイス

よく探すもの、大事なものは、日頃からしまい場所をチェックしておきましょう。

「新きほんBOOKS はじめての介護」(主婦の友社)より引用